



井本商運株式会社

住所：〒650-0035 神戸市中央区浪花町 59 番地
神戸朝日ビルディング 22 階
電話：078-322-1600

プレスリリース カテゴリー: [災害復興]

2015 年 3 月 13 日発信

被災地開発に伴う建設発生土を海上コンテナ輸送<本日初積み出し>

～3月から8月にかけて、釜石港と八戸港間で約16,000トンの輸送を実施～

井本商運株式会社は、東日本大震災がれき仮置場の開発により発生した建設発生土の海上コンテナ輸送（釜石港～八戸港間）を釜石市より受注し、本日初便が釜石港を出港しました。

当社は、2011年3月11日の東日本大震災発生直後から迅速に航路復旧を進め、翌4月には八戸港（青森県）、6月には仙台港（宮城県）と小名浜港（福島県）、7月には釜石港（岩手県）、そして12月には相馬港（福島県）への寄港を再開するなど、被災地への安定的な物資輸送に努めて参りました。また、災害廃棄物の広域処理事業においては、木くずなどの可燃物を密閉式コンテナに詰めて海上輸送する手法を提案し、宮城県石巻市から北九州市に約22,500トン、また、岩手県宮古市から大阪市に約15,200トンの輸送を行いました。

さて、今回のような土壌を対象とした輸送は、ダンプカーによる陸送が一般的ですが、次のような効果が期待できることから、弊社としても災害廃棄物の海上コンテナ輸送の経験を生かし、引き続き積極的に取り組んで参りたいと考えております。

- ・海運へのモーダルシフトによる、大型車両の通行の軽減や渋滞の軽減。
- ・密閉コンテナを用いた一貫輸送による、輸送経路での土壌や粉塵の飛散防止。
- ・定期航路の利用（既存貨物との積み合わせ）による、コストメリットの実現。

また、今回の取り組みでは、釜石市の考える震災後のがれき仮置場として使用した土地の再開発やそれに伴う土壌の再利用にも大きく寄与できるものと考えています。当社は、これからも引き続き海上コンテナ輸送を通じ、地域の更なる発展に貢献すべく取り組んで参ります。



釜石港 CY での初積み出しの様子



弊社社長 井本隆之(左) 釜石市 野田武則市長(右)

<案件概要>

発注者 : 釜石市役所
貨物内容 : 被災地開発に伴う建設発生土
貨物量 : 約 16,000 トン (約 1,000TEU)
輸送区間 : 釜石市片岸地区～釜石港～八戸港
～八戸市内八戸セメント(株)殿
輸送期間 : 2015 年 3 月～2015 年 8 月
日程 : 3 月 11 日 釜石港 CY に搬入開始
3 月 13 日 釜石港 CY 初積み出し
3 月 14 日 八戸港 CY 荷揚げ後、納品

<会社概要>

資本金 : 95 百万円
事業内容 : 内航海運業
設立 : 1973 年 (昭和 48 年)
本社 : 神戸市
社長 : 井本 隆之
売上 : 75 億円 (2013 年度)

<本件に関するお問い合わせは、営業部 葛西までお願いします。>

TEL : 078-322-1602 FAX : 078-322-1625 E-mail : kuzunishi@imotoline.co.jp